

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

- ・研究課題名： 切除困難局所進行性頭頸部皮膚有棘細胞癌におけるS-1の治療効果に関する後ろ向き研究
- ・目的： 有棘細胞癌の治療は手術療法が中心ですが、切除困難な局所進行例が存在します。切除困難な局所進行例での有効な標準治療は確立しておりません。経口薬であるS-1は治療の介入が比較的容易であり、本剤の治療効果が高ければ切除困難な頭頸部皮膚有棘細胞癌の患者さんの新たな標準治療となる可能性があります。そこで、これまで当科で切除困難な局所進行性頭頸部皮膚有棘細胞癌患者さんに行ったS-1の臨床効果につき複数施設で調査します。患者さんの情報は個人を特定できないようにしてから解析します。
- ・研究期間： 承認日 ~ 2024年 11月 1日
- ・研究対象： 2007年 4月 1日 ~ 2022年 11月 1日

利用し、又は提供する試料・情報の項目

: 診療記録、検査データより腫瘍の骨波及/破壊の有無，有害事象の有無およびgrade，病期，外科的介入の有無および術式，最良総合効果（best overall response: BOR），BORまでの時間，無増悪生存期間，全生存期間，増悪臓器，奏効率を抽出します。

利用する者の範囲

- : 和泉光晃(埼玉医科大学国際医療センター皮膚腫瘍科・皮膚科)
 - : 中村泰大(埼玉医科大学国際医療センター皮膚腫瘍科・皮膚科)
- 共同研究施設および共同研究者
- : 小泉 滋(君津中央病院皮膚科)
 - : 稲福和宏(君津中央病院皮膚科)

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

- : 中村泰大(埼玉医科大学国際医療センター皮膚腫瘍科・皮膚科)